

平成18年度一般会計決

みなさんが納められた税金等が、どの

決算の概要

歳入 200億6,911万円

下野市の平成18年度（18年4月～19年3月）の決算がまとまり、9月に開会された市議会定例会で承認されましたので、お知らせいたします。

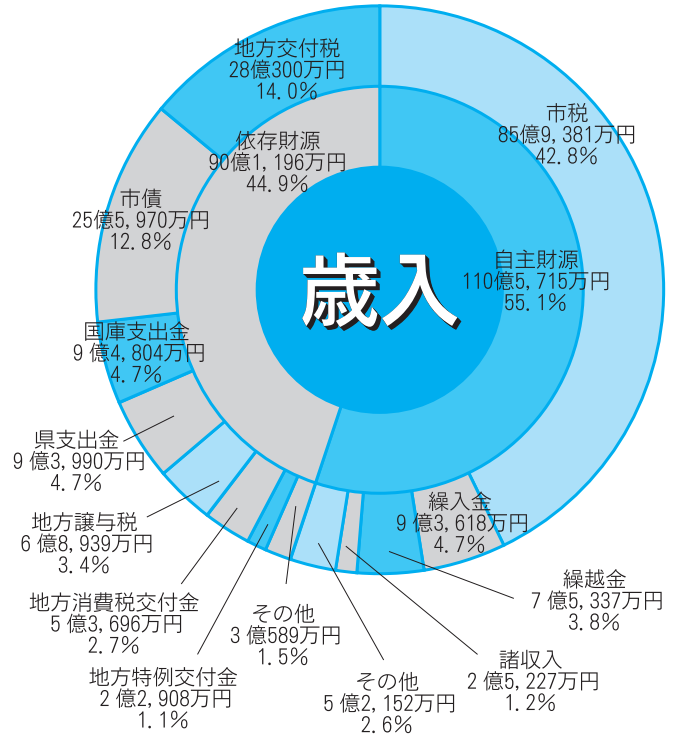
●決算規模

平成18年度の一般会計については、歳入総額が200億6,911万円、歳出総額が186億8,493万円で、前年度と比べて、歳入が1億9,269万円、1.0%増加し、歳出は4億3,811万円、2.3%の減少となりました。

●決算収支

平成18年度の形式収支（歳入歳出差引額）は、13億8,418万円でした。

市道整備事業、都市計画基本図等作成事業、小金井駅東歩道整備事業、消防指令車・ポンプ車整備事業において、3億1,621万円を翌年度に繰り越すべき財源としたため、繰越分を差引くと10億6,797万円の黒字収支となりました。



●歳入

歳入決算額は、200億6,911万円で、前年度198億7,642万円と比べて1億9,269万円（1.0%）増加しました。

■市税収入の増加

個人市民税の税制改正等により、前年度に比べて1億6,925万円、2.0%の増加となりました。

■地方交付税の増加

合併市町村包括措置等により、前年度に比べて4億4,824万円、19.0%の増加となりました。

■地方譲与税の増加

「三位一体改革」の税源移譲（所得譲与税）に伴い、前年度に比べて1億6,383万円、31.2%の増加となりました。

■市債の増加

地域振興基金積立事業など合併特例事業債に16億6,260万円を借入れ、前年度に比べて15億6,950万円、158.5%の増加となりました。

■分担金・負担金の減少

合併準備・移行費及び電算統合事業費負担金の減額により、前年度に比べて1億9,827万円、47.9%の減少となりました。

■繰入金の減少

基金繰入金の減額により、前年度に比べて16億2,195万円、63.4%の減少となりました。

●歳出

歳出決算額は、186億8,493万円で前年度191億2,304万円と比較して4億3,811万円（2.3%）の減少となりました。

■義務的経費の増加

人件費は、合併による特別職給、議員報酬手当等の減により、前年度比2億698万円の削減を図れた一方、扶助費は、生活保護費及び児童扶養手当などの増額により前年度に比べ3億5,524万円、34.9%の増加となりました。

■投資的経費の減少

社会資本整備事業費として、石橋小学校大規模改修事業、コミュニティ施設整備事業等を行った一方、学校給食センター整備完了、道路改良事業の縮小により、前年度に比べて13億3,129万円、38.9%の減少となりました。

■積立金の増加

地域振興基金の創設に、15億5,057万5千円を積み立てし、前年度に比べて2億9,977万円、19.6%の増加となりました。

■繰出金の増加

平成18年度より仁良川地区土地区画整理事業に特別会計を設け、5億8,401万円の繰出金を支出し、前年度に比べて6億5,646万円、33.8%の増加となりました。